



ちゅうりっぷぐみだより

2024年 11月 第4号

毎朝のお集りの時に「今日は…」と話し始めたり、押し入れの戸を開けたりすると、何が出てくるのか、何が始まるのかと興味津々で「なに？なに？」と大合唱。キラキラした目で待つ子ども達の期待に応えていけるよう色々考え、活動内容を話したり、絵本を出したりすると「やったー！」「いえーい！」と喜んでくれるので一安心です。「なに？なに？」と言う子ども達がとても可愛くて、ついつい「なんだろうね」と焦らしてしまいます。

これからも、子ども達の好奇心を刺激しながら様々な遊びを楽しめるようにしていきたいと思えます。



みんな仲良し



何事にも「挑戦してみよう」「頑張ればできる」と前向きな意欲が芽生えてきた子ども達。以前は「やって」とすぐに保育士の所に来る事も多かったのが、自分で考えながら取り組んでいます。頑張っているように出来ようになった事を喜び、大きな自信へと繋がっているようです。

進級当初、ズボン足だけで脱ぎ散らかしていたのが、裏返しにならないように脱いだり、衣服をたたむ事も出来るようになってきました。また、トイレに行った後はスリッパを並べたり、絵本を丁寧に片付けたりなど自分の事だけでなく、周りにも目を向けてきれいに使う事も意識しているようです。そんな子ども達の成長を感じていたある日の事。突然、数人の子がパジャマの着替えに戸惑うようになりました。

「出来た」と着替えが終わった事をアピールしていますが、チラチラと服が見えています。また、寝起きも同じようにパジャマの上に服を着て得意顔。保育士に教えてもらい、照れ笑いしながら着替えていました。そんな事がなぜか数人同時に、しかも数日起こるのです。うっかり間違いまでも一緒になる、とても仲良しのちゅうりっぷぐみです。



運動会の練習を行う中で、行進の際に「腕を元気に振って」と声を掛けると、おばけの手のように「ブラブラ」と手を振っていました。運動会では最後まで頑張る事が出来ました。

飛行機を見つけるのが上手な子ども達。少し前までは手を振るだけでしたが、「どこに行くんだろうね」「お買い物かな」など色々想像しながら話をする姿が可愛かったです。

毎日登園後に身の回りの事を行っていく中で、ほとんどの子はタオルを出してロッカーに戻り、お手帳を出してロッカーに戻り、靴下を出してロッカーに戻りと何度も行き来して片付けをします。しかし、一人の男の子だけは全部を抱えて持ち、一度に済ませてしまいます。保育士が教えたわけではなく、自分で考えて出来ている事に感心します。

新聞紙を使って、様々な遊び方を提案しました。

- ① ホワイトボードに粘着テープを付け、丸めた新聞紙を投げてくっつける。
- ② 細かくちぎった新聞紙を水で濡らして窓に貼る。
- ③ 粘着テープを室内に何本か張り、破いた新聞紙をぶら下がるように貼る。

特に③が盛り上がり、ぶら下がる新聞紙の間を行き来したり、ハイハイしながらくぐったり、寝転がって下から新聞紙を眺めたりなど保育士が想像していた以上に盛り上がっていました。

